

授業科目名	経営学特殊講義（B） 会計専門職業人の役割	（英語名）	Special Topics 会計専門職業人の役割
科目区分	専門教育科目	対象学生	国際商経学部
単位数	2単位	開講年次・学期	2年次以上・後期
担当教員	瓦田 沙季	所属	社会科学研究科
授業の形態	講義	関連するSDGs目標	
オフィス・場所	授業終了後、教室にて	連絡先	saki-k@acs.u-hyogo.ac.jp

対応するディプロマ・ポリシー(DP)	【学部・研究科】	DP1、DP4
対応するディプロマ・ポリシー(DP)	【全学DP】	
対応する教職課程の学修目標		

講義目的・到達目標	<p>【講義目的】 この科目の目的は、会計専門職の魅力进行、会計専門職業人になるための道標を示していただくことである。そのために、社会で様々な立場で会計に関わっている講師をお招きし、講義していただく。</p> <p>【到達目標】 会計専門職は社会的に必要とされる職業であり、目指す価値のある職業であることを理解してもらうことを通じて、専門職業人としてのキャリアを意識し、学習できるようになることである。</p>
授業のサブタイトル、キーワード	<p>サブタイトル： キーワード：会計専門職業人、会計の役割</p>
講義内容・授業計画	<p>【講義内容】 本講義では、会計に関する職業について、例えば企業の経理は「記帳」、公認会計士は「監査」というような固定された仕事だけをしているのではなく、多彩な活躍のフィールドがあることを講師からお話していただき、会計専門職の知られざる魅力も伝えていただく。</p> <p>【授業計画】 本講義では、多くの授業が外部講師により行われる。講師の都合により、授業計画を変更することがある。授業計画の確定版は、授業開始時に公表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会計専門職の魅力と将来性 2. 「会計専門職ってどんな仕事？」①公認会計士の仕事 3. 「会計専門職ってどんな仕事？」②税理士の仕事 4. 「会計専門職ってどんな仕事？」③国税専門官の仕事 5. 「会計専門職ってどんな仕事？」④経理担当者の仕事 6. 「会計専門職業人になるための勉強法」①公認会計士になるための勉強法 7. 「会計専門職業人になるための勉強法」②税理士になるための勉強法 8. 「会計専門職業人になるための勉強法」③大学院進学というルート 9. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」①公認不正検査士の職務 10. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」②中小企業の経営をサポートする税理士 11. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」③公務員の世界における会計の必要性 12. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」④米国公認会計士資格の魅力 13. 「これからの会計専門職業人に期待すること」①地域に貢献する会計専門職業人 14. 「これからの会計専門職業人に期待すること」②国際的に活躍する会計専門職業人 15. まとめ（会計専門職業人を目指して） <p>評価</p>
テキスト	それぞれの講師の講義資料を事前にユニバーサルパスポートにて配布する。
参考文献	必要に応じて指示する。
事前・事後学習（予習・復習）の内容・時間の目安	<p>【予習】 授業に際して事前に配布した講義資料を読む（30h）。</p> <p>【復習】 授業終了後にレポートを提出し、なお講義資料を読み直し、理解を深める。（30h）。</p>
アクティブ・ラーニングの内容	採用しない。
成績評価の基準・方法	<p>【成績評価の基準】 講義目的・到達目標の到達度に基づき、国際商経学部規程に従い成績評価の上、単位を付与する。</p> <p>【成績評価の方法】 原則として、毎回講義内容についての理解を確かめるためにレポートを課し、提出されたレポートの内容に基づき成績評価（100%）を行う。</p>
課題・試験結果のフィードバック方法	講義に関する質問等は、各講師に照会した後、ユニバーサルパスポートを通じてその回答をフィードバックする。
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の講師をお招きするので、常識のあるマナーで受講してください。ひどいマナー違反の場合は成績評価に影響があることもありうる。 ・単位習得のためには、毎回受講し、講義内容を適切に記述したレポートを提出することを推奨する。

	・授業は原則として対面で実施するが、新型コロナウイルスの感染が拡大したときは、オンライン授業に切り替える可能性があることから、安定して受信できるインターネット環境および情報機器を準備しておくこと。
実践的教育	該当しない。
備考	本講義は、本学の名誉教授である故阪本安一先生のゼミ同窓生から、阪本先生の神戸商科大学における会計研究の業績をたたえ、その名を後世に残すために、兵庫県立大学に寄せられた寄付金に基づいて創設された「阪本安一先生記念基金」の事業の一環として開講される。（複数の講師によるリレー講義となる。）